



ロリポップつうしん

～布おもちゃの貸し出しをしているボランティアグループです～

NO. 8

H.28. 2月発行

おもちゃひろば

ロリポップ

「おもちゃひろばロリポップ」は、今年で10年を迎えます。当時2名で立ち上げ、現在は6名のスタッフで運営されています。ご存じの方も多いと思いますが、スタッフは障がいのある子を持つお母さんからお孫さんのいる方まで年齢も様々です。毎月の月例会で「こんなおもちゃがあったら嬉しいよね～」の声があがると、そこからどんどん発想が膨らんでいきます。作り手のTOY工房どんぐりに依頼してみよう！そこまでが私たち「おもちゃひろばロリポップ」のできることです。

今年度は、「食育」をテーマに、白浜養護学校地域支援担当の先生方と一緒にアイデアを出し合い、おもちゃの依頼をしました。依頼→試作→検討→完成…どんぐりとの連携・協力で、今年も新作おもちゃが子どもたちの手元に届きました。ご紹介します。



しよく いく
食 育

きっかけはホットケーキ！？

食事の楽しさは、おいしさを知ることからはじまります。いろいろな食品を見て触ることで食べようとする意欲が育ちます。おいしさは、味覚だけではなく、一緒に食事をする人や環境も大切です。遊びを通して食べ物や身体の話に親しんだりしていると、食べ物に興味関心を持てる子どもに育ちます。

(厚生労働省「楽しく食べる子どもに」より抜粋)

『ホットケーキをホットプレートで作る』学校やご家庭でも一度は子ども達と作ったことがあるのではないのでしょうか？出来ていく様子が分かりやすく子ども達が好きな調理のひとつ。白浜養護学校から、実物に近いホットケーキの布おもちゃの依頼があり、TOY工房どんぐりが製作。授業で使っていただいたところひっくり返した感触も含め好評でした。そこから次々と新しいおもちゃが誕生しました。白浜養護学校地域支援担当の先生方からの感想と共にお届けします！

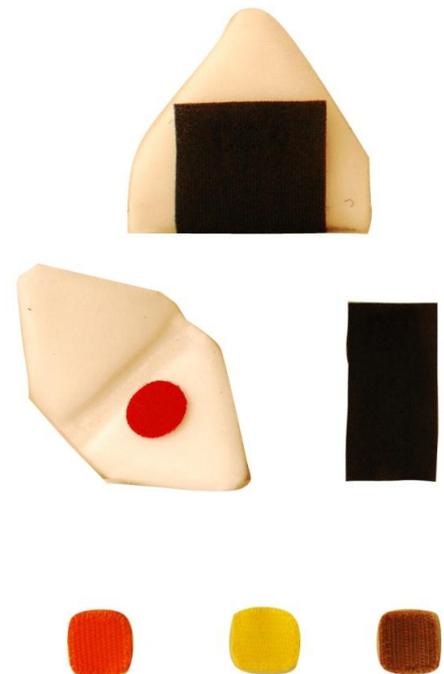
おにぎり

小学部の児童が使いました。

はじめは具をおにぎりのつなぎ目に置いていました。先生と「ここに具を置くと付くね」と確認して、具を三角ご飯の真ん中に置き直しました。赤い具を見て『うめぼし！』。黄色の具は自分の好物の『ミカン！』。先生が「残念、ミカンはおむすびに入れないかも。これはたくあんなかなあ～」などと会話が広がっていきます。具をひとつ、ご飯の真ん中に入れてぎゅっぎゅっ握ります。海苔も最初はおにぎりの片面によっています。慎重に両面に均等になるように置いて…そしてまたぎゅっぎゅっ。ハイできあがり。2日目はお弁当箱を用意して握ったおにぎりを詰めてみました。

遊びが広がっていきます。中学部の個別の学習でも使っています。

白浜養護学校地域支援担当



おにぎり・のりまき・ナプキンのおもちゃデザイン

穂苅 弓

のりまき



小学部の児童が使いました。

はじめ、巻き方に戸惑いましたが2本、3本と丸めていくと手や指の動かし方がわかってくるようです。

海苔のマジックテープ部分で海苔の表裏がわかりますが、先生と確認したり自分で確認したりしています。

具の置き方もどの向きに置くのか、どの位置に置くのかに気をつけます。「具は〇本入れて下さい」「赤と緑の棒を入れてください」等、数や色の学習にもつながっています。

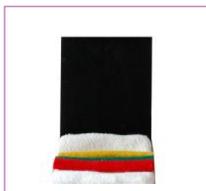
また、手で物をつかむおもちゃを探していた児童がボランティアのお姉さんと一緒に海苔巻を楽しみました。のり・ご飯は一緒に机の上に用意し、好きな色の具を選びます。具の向きを考えながら置くのが難しかったようです。

はじめはお姉さんと一緒にくるくると巻いていましたが、3本ほど巻くとこつがわかりだして、海苔巻きを5本作りました。

5本でおしまいのお予定でしたが、「～～さんに作ってあげよう」と1人で20本の海苔巻を作りました。

本人がとっても楽しんで出来る手の操作の活動となりました。

白浜養護学校地域支援担当



ナプキン



これから初潮を迎える女子に、トイレでの後始末がスムーズに出来るようにとお願いして作成していただいたのがナプキンセットです。

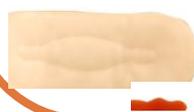
今までは個別の時間に実際の生理用品を使ってナプキンを巻いて箱に捨てる練習をしていました。

『ナプキンをクルクルと丸めて始末する』この手順が個別の学習の中で習慣化し、実際に生理になった場面でも本人に大きな混乱がなく、日常のこととして出来ることを目標としています。

ナプキンの厚さや大きさ、血の色や形・厚みなど、職員の細かい希望を取り入れていただきました。布の袋には小鳥のステッチをつけていただきました。これは『生理の時にトイレに持っていくもの』として子どもが理解しやすいようにするためのマークです。

突然やってくる初潮にそなえて、子どもたちが練習しやすいセットを製作していただきありがとうございました。

白浜養護学校地域支援担当



ご報告

公益財団法人みずほ福祉助成財団より31万円、かながわ生き生き市民基金より30万円の助成金を頂きました。

会員の皆さまへ新しいおもちゃが今春から順次お届けして活用して頂けたらと思います。率直なご意見・ご提案をお待ちしています。

西村

敬称略

編集後記

暖冬というよりは寒暖の差が大きかった冬も過ぎ、春の訪れを感じます。今回は食育がテーマ。いかがでしたでしょうか？私たちの月例会は、和やかにお茶と持ち寄ったお菓子と手弁当を食べながらの雑談も大切にしています。それが10年続いた秘訣かも知れません。誰かと楽しい雰囲気食べる…ひとりよりおいしく感じる…その場の雰囲気の楽しさも「おかず」なんです。

(小林)